

## レボフロキサシン点滴静注バッグ 500mg 「ニプロ」

### 【この薬は？】

販売名	レボフロキサシン点滴静注バッグ 500mg 「ニプロ」 LEVOFLOXACIN I. V. INFUSION
一般名	レボフロキサシン水和物 Levofloxacin Hydrate
含有量 (1 容器中)	512.5mg/100mL (レボフロキサシンとして 500mg/100mL)

### 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」  
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

### 【この薬の効果は？】

- ・この薬は、ニューキノロン系抗菌薬と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・細菌の DNA (デオキシリボ核酸) の複製にかかわる酵素を阻害することで、細菌の増殖をおさえ、殺菌作用を示します。
- ・次の病気の人に医療機関で使用されます。

#### 〈適応症〉

外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、精巣上体炎（副睾丸炎）、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、腸チフス、パラチフス、子宮内感染、子宮付属器炎、炭疽、ブルセラ症、ペスト、野兔病、Q 熱

#### 〈適応菌種〉

レボフロキサシンに感性的ブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、モラクセラ（ブランハメラ）・カタラーリス、炭疽菌、大腸菌、チフス菌、パラチフス菌、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロビデンシア

属、ペスト菌、インフルエンザ菌、緑膿菌、アシネトバクター属、レジオネラ属、ブルセラ属、野兔病菌、ペプトストレプトコッカス属、プレボテラ属、Q熱リケッチア（コクシエラ・ブルネティ）、トラコーマクラミジア（クラミジア・トラコマティス）、肺炎クラミジア（クラミジア・ニューモニエ）、肺炎マイコプラズマ（マイコプラズマ・ニューモニエ）

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にレボフロキサシン錠「ニプロ」、レボフロキサシン点滴静注バッグ「ニプロ」に含まれる成分またはオフロキサシンで過敏な反応を経験したことがある人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・小児

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・腎臓に重い障害のある人
- ・うっ血性心不全の人、腎臓に重い障害のある人、ネフローゼ症候群の人などナトリウムの摂取が問題となる人
- ・てんかんなどのけいれん発作をおこすことがある人、または過去にてんかんなどのけいれん発作をおこしたことがある人
- ・過去にキノロン系抗菌薬で過敏な反応を経験したことがある人
- ・心臓に重篤な障害（不整脈、虚血性心疾患など）のある人
- ・重症筋無力症の人
- ・高齢の人

○ショックやアナフィラキシーがあらわれることがあるので、過去にアレルギーがあった人や薬で過敏な反応を経験したことがある人は、医師に伝えてください。

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において注射されます。

腎機能に障害のある人は使用量が調節されます。

通常、成人の使用する量および回数は、次のとおりです。

1回量	500mg（レボフロキサシンとして）
使用回数	1日1回、約60分かけて点滴静注する

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・意識障害（気を失う、もうろう状態）などがあらわれることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作をおこなう場合には、十分に注意してください。
- ・授乳中の方は、授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

### 副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下
アナフィラキシー	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、じんましん、判断力の低下、動悸（どうき）、息切れ、息苦しい、からだがだるい、考えがまとまらない、ほてり、意識の低下、ふらつき
中毒性表皮壊死融解症(TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう(テン)	からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、発熱、食欲不振
皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん	高熱、陰部の痛み、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、発熱、中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹、まぶたや眼の充血、食欲不振、からだがだるい、結膜のただれ
痙攣 けいれん	けいれん
QT延長 キューティーえんちよう	気を失う、動悸
心室頻拍（トルサード ド ポアントを含む） しんしつひんぱく	脈が速くなる、動悸、息切れ、気を失う、意識がなくなる、胸部異和感、胸の痛み
急性腎不全 きゅうせいじんふぜん	意識の低下、眼がはれぼったい、疲れやすい、尿量が減る、尿がでない、頭痛、からだがだるい、息苦しい、からだのむくみ
間質性腎炎 かんしつせいじんえん	関節の痛み、頭痛、からだのむくみ、血尿、発熱
劇症肝炎 げきしょうかんえん	吐き気、食欲不振、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、判断力の低下、尿の色が濃くなる、頭痛、意識がなくなる、嘔吐（おうと）、考えがまとまらない、発熱、意識の低下、羽ばたくような手のふるえ

重大な副作用	主な自覚症状
肝機能障害 かんきのうしょうがい	吐き気、皮膚が黄色くなる、嘔吐、白目が黄色くなる、尿の色が濃くなる、食欲不振、かゆみ、からだがだるい
黄疸 おうだん	皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる、白目が黄色くなる
無顆粒球症 むかりゆうきゆうしょう	発熱、のどの痛み
汎血球減少症 はんけつきゆうげんしょうしょう	めまい、動悸、耳鳴り、鼻血、出血しやすい、歯ぐきの出血、あおあざができる、息切れ
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血が止まりにくい
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	ふらつき、立ちくらみ、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、疲れやすい、褐色尿、頭が重い、めまい、からだがだるい、動く時の動悸や息切れ
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	頭痛、息苦しい、発熱、から咳
好酸球性肺炎 こうさんきゆうせいはいえん	から咳、息切れ、発熱
偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎 ぎまくせいだいちょうえんなどのけつべんをともなうじゅうとくなだいちょうえん	腹痛、血が混ざった便、むかむかする、嘔吐、下痢、発熱、頻回な下痢、血の混じった下痢
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、足のしびれ、手のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、赤褐色尿
低血糖 ていけつとう	めまい、空腹感、ふらつき、手足のふるえ、脱力感、頭痛、動悸、冷や汗
アキレス腱炎、腱断裂等の腱障害 アキレスけんえん、けんだんれつなどのけんしょうがい	アキレス腱の痛み、はれ、押すと痛い、うまく歩けない、歩けない
錯乱、せん妄、抑うつ等の精神症状 さくらん、せんもう、よくうつなどのせいしんしょうじょう	意識の混乱、意識が乱れる、考えがまとまらない、気分が落ち込む、不眠、気分がふさぎ込む、やる気がおきない
過敏性血管炎 かびんせいけつかんえん	関節の痛み、あおあざができる、発疹、筋肉の痛み、発熱
重症筋無力症の悪化 じゅうしょうきんむりょくしょうのあつか	まぶたが重い、上まぶたが下がる、物がだぶって見える、筋肉の疲労感

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。  
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、からだのだるい、ふらつき、関節の痛み、脱力感、立ちくらみ、疲れやすい、押すと痛い、高熱、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、冷や汗、けいれん、からだのむくみ
頭部	頭痛、めまい、考えがまとまらない、意識の低下、意識がなくなる、意識がうすれる、意識の混乱、意識が乱れる、頭が重い
顔面	ほてり、鼻血、血の気が引く
眼	白目が黄色くなる、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、眼と口唇のまわりのはれ、眼がはれぼったい、まぶたが重い、上まぶたが下がる、物がだぶって見える
耳	耳鳴り
口や喉	嘔吐、吐き気、から咳、歯ぐきの出血、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、のどの痛み、しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ
胸部	動悸、息切れ、息苦しい、吐き気、動く時の動悸や息切れ、むかむかする、胸の痛み、胸部異和感
腹部	食欲不振、吐き気、腹痛、空腹感、むかむかする
手・足	関節の痛み、アキレス腱の痛み、はれ、うまく歩けない、歩けない、手足のふるえ、羽ばたくような手のふるえ、手足のこわばり、足のしびれ、手のしびれ、脈が速くなる
皮膚	皮膚が黄色くなる、あおあざができる、はれ、中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、じんましん、かゆみ、発疹、皮下出血
筋肉	筋肉の痛み、筋肉の疲労感
便	血が混ざった便、下痢、血の混じった下痢、頻回な下痢
尿	尿の色が濃くなる、尿量が減る、尿がでない、尿が褐色になる、血尿、褐色尿、赤褐色尿
その他	判断力の低下、気を失う、出血しやすい、出血がとまりにくい、陰部の痛み、気分が落ち込む、不眠、気分がふさぎ込む、やる気がおきない

## 【この薬の形は？】

性状	黄色～帯緑黄色澄明の液
形状	

## 【この薬に含まれているのは？】

有効成分	レボフロキサシン水和物
添加物	塩化ナトリウム、pH調整剤

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ニプロ株式会社 (<http://www.nipro.co.jp/>)

医薬品情報室

電話：0120-226-898

受付時間：9時～17時15分

(土、日、祝日、その他弊社休業日を除く)